

映画「ふたたび SWING ME AGAIN」上映

国立療養所 長島愛生園 入所者の講演

※字幕、手話通訳、要約筆記、副音声あり

入場無料
参加申込不要



©2010「ふたたび」製作委員会

映画の紹介

神戸の大学生・貴島大翔(鈴木亮平)の家に、亡くなったはずの祖父・健三郎(財津一郎)がハンセン病療養所から50年ぶりに戻ってきた。父(陣内孝則)の勧めであったが、家族は揺れ、大翔も偏屈な祖父にどう接していいかわからない。しかしまもなく大翔の憧れの、幻のジャズバンドのトランペッターが実は健三郎だったことを知り、かつてのバンドメンバーを訪ねる祖父の旅に同行することに。旅の途中で祖父の夢や、愛した女性のことも明らかになっていく…。

「日本の歴史のなかに覆い隠されてきたハンセン病に対する偏見と差別の事実があり、患者さんたちが味わった苦しみは筆舌に尽くしがたい」と語っている塩屋監督が、断ち切られていた絆をジャズで結ぶ再生の物語。

企画・監督／塩屋俊

出演／財津一郎、鈴木亮平、MINJI、藤村俊二、犬塚弘、佐川満男、織本順吉、渡辺貞夫(友情出演)、古手川祐子(特別出演)、陣内孝則(特別出演)ほか

講演について

国立療養所長島愛生園の入所者に、過去の体験、現在の心境、今後の療養所の展望などについてお話いただきます。



国立療養所長島愛生園・国立療養所邑久光明園

かつてハンセン病を患った人々が暮らす、岡山県内のふたつの療養所。ハンセン病は完治しているものの、社会の差別や高齢化などの理由から今でも、長島愛生園では約320名、邑久光明園では約200名の入所者が生活している。なお、2001(平成13)年、らい予防法違憲国家賠償訴訟で、人権侵害の歴史が明らかになり、国は隔離政策の誤りを認め、謝罪した。

日時 平成23年 5月11日(水)

13時から16時まで(12時30分より受付開始)

会場 岡山コンベンションセンター

(ママカリフォーラム)3階コンベンションホール

岡山市北区駅元町14-1

注：会場の駐車場は有料です



主催 岡山市・岡山市教育委員会

後援 国立療養所長島愛生園・長島愛生園入所者自治会・国立療養所邑久光明園・邑久光明園入所者自治会・岡山県協力 ハンセンボランティアゆいの会

お問い合わせ先 岡山市 市民局 人権推進課 電話／086-803-1070(直通)

FAX／086-225-1699 Eメール／jinkensuishin@city.okayama.jp